公益社団法人
青森県社会福祉士会
30年のあゆみ

1994年 3月 28日、
青森市内の居酒屋で会員5名で結成

準備委員会の会合をやり、全国と同時に県でも社会福祉士会をと思ったのですが、もっと人が増えるのではないかと待っていたんです。でも、あまり増えそうになかったので、それなら平成五年度のうちに設立しようということになり、中途半端でしたが、平成六年の三月二十八日に私と齊藤さん、菅原さんの三人で、居酒屋で飲みながら設立総会をやりました。その時は他に二人いるのがわかっていたけれど、参加できないとのことで委任状をもらって、とそんな風なところですね。

まずは仲間を増やそう

- 設立の年に、全国統一模擬試験を、2年後からは、社会福祉士受験対策講座を開始

- 青森市の国家試験会場前で、受験者に入会勧誘のチラシを配っていた

▸試験会場前にてチラシを配布する会員ら

社会情勢に対応した草創期の活動

- 設立年～　公開セミナーを開催
- 1996年　暮らしの相談センター相談支援事業

- 介護支援専門員受験対策講座・全国統一模擬試験
  （1998～2010）
- 2002年　東奥日報紙上に「プロがこたえる福祉なんでも相談」連載（61回）
- 公開セミナー「やさしい子育てのための音楽とお話のひととき」

人権擁護を意識した活動

・元ハンセン病患者支援

2002年　「松丘保養園」入所者を招いた学習会

2003年　元患者の全国被害実態調査に参加

東北ブロック大会テーマ「元患者の在宅生活支援」

・ホームレス支援

2005年　国による全国実態調査に参加

（青森市からの委託）

介護保険制度への対応

- 1997年　介護保険法成立
- 1998年　介護支援専門員受験対策講座・全国統一模試実施
- 2000年　介護保険法施行
- 2003年　受験対策講座270名超受講、模擬試験250名受験
  （2010年終了）

2007年　地域包括支援センター実務者研修（～2012年）

権利擁護の取り組み

- 2000年　成年後見制度発足
- 2001年　成年後見電話相談会（県弁護士会と合同）
- 2003年　「権利擁護センターぱあとなあ青森」設置
- 2004年　成年後見活用講座（～現在まで）

  成年後見人養成研修（現・人材育成研修、名簿登録研修）

  成年後見人フォローアップ研修（～現在）
- 2011年　県から「青森県高齢者権利擁護支援事業」受託

  （弁護士との専門職チームによる虐待相談等への対応）
- 2020年　県に成年後見制度の周知と充実を要望（三士会連名）

ソーシャルワークの広がり

- 2005年　福祉サービス第三者評価機関認証（～現在）
- 2008年　医療ソーシャルワーク研究会発足
- 2013年　スクールソーシャルワーク学習会（連続講座）
  →スクールソーシャルワーカー養成講座へ発展
- 2017年　司法分野のワーカーの情報交換会
  →リーガルソーシャルワーカー部会発足

ソーシャルワーカーデー

- 2009年　「ソーシャルワーカーデー」（海の日）制定

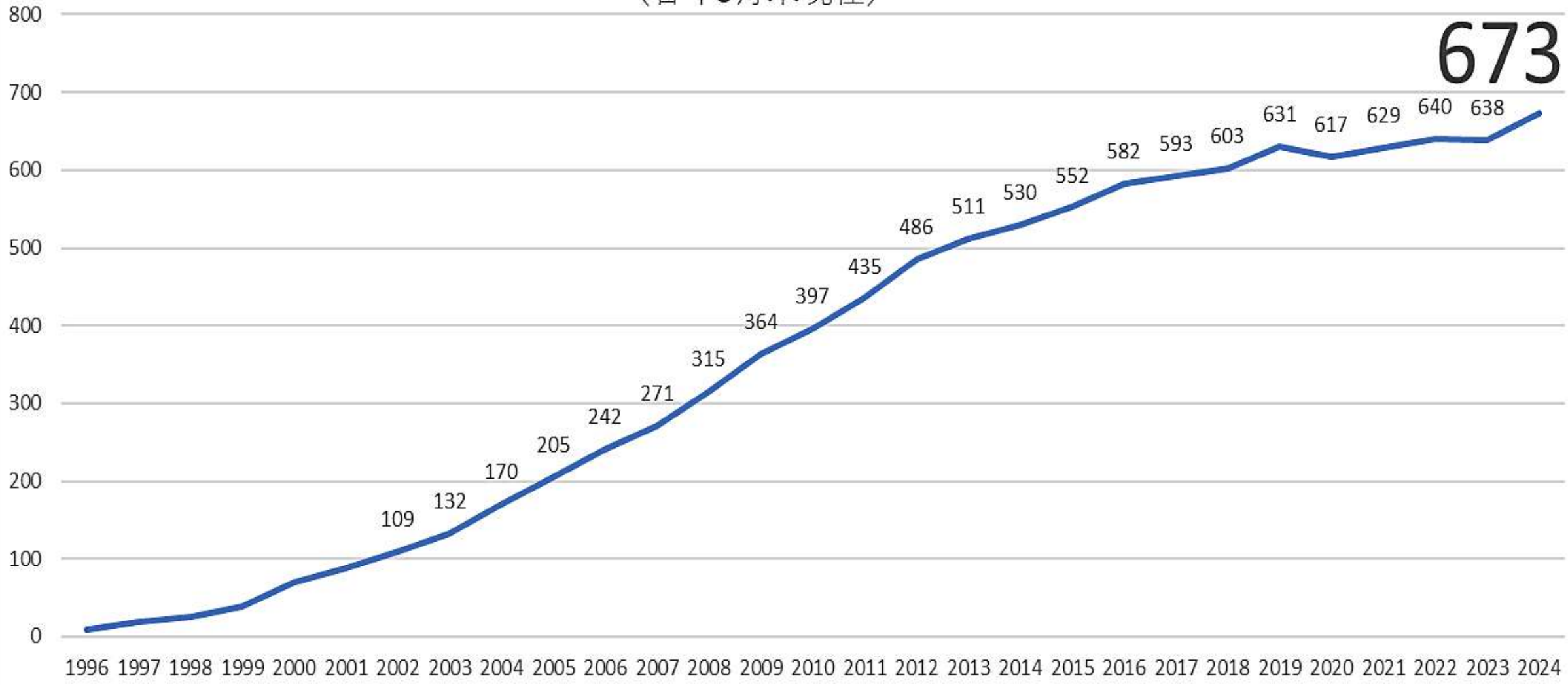
- 2012年　本会初の「ソーシャルワーカーデー」開催

- 2013年～県内ソーシャルワーカー
  4団体による共催方式

2024年～本会主催（他団体協力）

会員数の動向

（各年3月末現在）



組織の変化

- 組織率全国１位！（ほぼ継続的に）
  発足当初から「顔の見える関係づくり」を意識

- 事務局・法人格の変遷
  1999年　専従局員1名採用、ねむのき会館(青森市）に移転。
  2004年　事務局が県民福祉プラザ（青森市・現在地）に移転
  2005年　社団法人設立
  2012年　公益社団法人に移行
  2021年　専従事務局長設置、職員２名（2024年～4名）

人口減少、福祉人材不足　地域共生社会づくり
そんな中で…

２０２６年
日本社会福祉士会全国大会

青森大会 開催が決定！

青森に、ソーシャルワークを
浸透させる契機とします